

3月議会の一般質問

消費税増税に反対を・仏子やかん坂の路側帯改善を

今回の一般質問では、市民生活を守る立場から消費税増税10%に反対するよう市長の政治姿勢について質し、危険な仏子やかん坂の路側帯の改善を求めました。

市民生活破壊の消費税

消費税は、所得が低ければ低いほど負担が重くなる逆進性の強い税制で、能力に応じて税を負担する近代税制の原則に反します。この点を市長に質すと「広く浅く負担してもらうことも必要」との答え。私は、消費税は「浅い」負担などではなく生活が苦しい市民に大きな負担を強いていることを強調しました。

8%から10%への増税で一世帯当たり6万2千円の負担増です。

この3年での消費税増税は2014年の5%から8%さらに2017年の10%で、一世帯当たり18万4000円もの負担増であることが共産党の小池副委員長長の国会質問で明らかになりました。

入間市民の平均所得は、平成22年度約323万4000円だったものが平成26年度には約308万7000円と14万円以上も減少しています。

「18万4000円もの負担増で市民生活が破たんしてしまう」と強調すると市長は「軽減税率を導入し、増大する社会保障のためにやむを得ない」と答弁。

軽減ではなく単なる据え置きで負担増は変わりありません。社会保障のためと言いながら、もともと他の財源を充てていたものを消費税に付け替えただけで、小泉構造改革以上の年間3000億円か

ら5000億円もの社会保障費の削減です。要介護度1と2の人を特養から排除し、通所・訪問介護も介護保険からはずすなど事実上介護度1と2の介護保険外しです。医療も介護も年金も削減のオンパレードです。私は、「消費税増税が社会保障のため」という認識は改めるべきと主張しました。

危険な仏子やかん坂

アミーゴから図書館西武分館に通じる市道の途中にある仏子やかん坂の北側部分は路側帯が全くなく歩行者・自転車が通行する際、車道に出なくてはならず極めて危険です。

改善を都市建設部長に求めると「用地買収を含めて4000万円かかり、すぐに改善するのは難しい」と答弁。アミーゴ前の歩道の段差解消と合わせて市の事業の中での優先順位を上げることが求めました。



小出わたるの連絡先 どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04 (2932) 7884
携帯 090 (6542) 3883

日本共産党小出わたる

市議会つうしん

No 27

2016年4月

- 近況・活動・第1回定例議会の報告
- ◇学童保育の改善は喫緊の課題
- ◇中橋の歩道拡幅へ
- ◇消費税増税ストップ
- ◇仏子やかん坂の改善



市民の声が市政を動かす

こんにちは。日頃からお世話になっております。すっかり春めいて来ましたがいかがお過ごしでしょうか。

私は先日、西武地域のカラオケサークルの発表会に呼んでいただき、「津軽平野」を歌わせていただきました。

日頃の街頭演説が発声練習になり、ご好評を頂きました。文化活動を粘り強く続けている会の方々に、心より感謝申し上げます。

学校へのエアコン実現へ

共産党市議団が繰り返し、議会で提案してきた小中学校へのエアコン設置が、ようやく実現することになりました。私も一般質問で9回取り上げました。他会派は見向きもせず、市長も「子どもは暑さに慣れた方がいい」と言っていたものが、「学校エアコン応援ネット」で署名にも取り組む中で、市民の声が市政を動かしました。ご協力ありがとうございました。引き続き市民の声を市政に届けてまいりま

す。ご意見お待ちしております。

学童保育改善を

前回私は、学童保育の改善を求める一般質問を行いました。遅れている6年生まで受け入れに対応した改善が行われるものと考えていたのですが、対応が大幅に遅れ4年生以上のほとんどが入所できないと通知されました。支援員が大幅に不足、施設も追いついていないからです。入間市の学童保育は、施設拡充・支援員の増員が喫緊の課題です。

中橋の歩道拡幅へ

議会で数回取り上げた中橋の歩道の拡幅工事が行われます。今年の11月から来年6月まで片側交互通行になります。「なんで11月からなのか」と尋ねると「雨が深い時期は、河川の水量の関係で橋の歩道拡幅工事はできない」とのことです。来年度の中ごろには、幅が倍の歩道になります。地域の危険箇所など気づいたら、お知らせくださるようお願いいたします。

共産党と市民の運動がついに実り

小中学校のエアコン設置にむけた予算計上

日本共産党と市民団体「学校エアコン応援ネット」が取り組んできた小中学校へのエアコン設置にむけた予算がH28年度予算に計上されました。28年度設計業務、29年度工事、30年夏から稼働予定です。

共産党はH14年から議会で繰り返しエアコン設置を求め、市民と一緒に署名活動や市長への要請に取り組んできました。市民の願いがようやく実現されます。



共産党は市から提出された42議案のうち市民生活を応援する予算になっていないことから、28年度一般会計予算と国民健康保険特別会計予算の2議案に反対しました。

厳しい生活を応援する予算に

市は「雇用・所得が改善している」とアベノミクスを評価していますが、市民の平均所得は22年度323万円だったものが26年度309万円に14万円も減少。暮らしが厳しさを増しているのは明らかです。市の認識は市民の生活実態とかけ離れており、適切な予算編成ができていないのか疑問です。

学童保育は定員を40人から45人に詰め込み保育で対応しています。労働条件改善による職員確保と施設整備を急ぐべきです。

「次期総合計画・前期基本計画」への意見を提出

市が策定中の「次期総合計画・前期基本計画」「公共施設等総合管理計画」等では、人口減少を理由に学校や公民館などの統廃合や民間委託を打ち出しています。公の施設を民間施設と同等に効率性のみで捉え、公の責任の放棄につながります。公共施設の統廃合・民間委託は、地域の衰退を招くおそれがあります。

共産党市議団は、計画に対して「意見および見解」を提出。子どもを生き育て

ることが、自民党政治により困難にされている現状を直視し、人口減少の原因を分析し、市民に必要な施設やサービスを公の責任として守るよう要請。同時に入間市の将来に対する明確なビジョンを持ち、多くの市民や学識経験者、議会を交え議論すること、30年、50年後の計画を作ることに無理があり、目先のことにとられて決めるべきではないと強調しました。

第1回定例議会

その他、TPPによって厳しさを増す農業への支援が不十分であること、タクシー券廃止など福祉削減の予算になっていること、東町基地跡地の入間基地拡張を進めたこと、基地騒音調査の予算が盛り込まれていないことなどを指摘しました。

収入の1割を超える大きな負担

国民健康保険税は年収233万円の4人世帯で年額25万円を超えます。社会保障であるはずの制度が市民の生活を脅かす大きな負担になっています。共産党は、国保税の負担が重く市民が支払える限界を超えていること、低所得や所得減少などに対応する減免が不十分なことなどから、国民健康保険特別会計予算に反対しました。

数の力で「戦争法」を削除

石田議員の一般質問通告書の安保法・戦争法の「戦争法」部分が、議会運営委員会で議論し、議長の権限で削除されました。同時に質問の中での使用を制限しました。国会や県議会で使用されている言葉を本人の了解なしで削除することは、言論の自由や表現の自由に反することです。

安保法の実態から戦争法と呼ぶ国民の声を恐れての多数による暴挙です。

戦争法廃止の願い大きく

基地拡張と戦時医療を担う自衛隊病院は、安倍内閣がすすめる「戦争法」の具体化です。「ストップ入間基地拡張！市民の会」は、市民の貴重な財産・東町側留保地を防衛省に渡してはならないとして、12月議会に7977筆の請願署名を提出。請願に賛成したのは共産党だけでしたが、市議会で基地跡地問題が議論され、市長の独断と各会派の態度も明らかにされました。

署名は今も寄せられており9000筆を超えています。「市民の会」は、運動を発展させて「戦争法廃止の2000万人署名」に取り組んでいます。民主主義と立憲主義を取り戻すために、共産党も運動に連帯します。

共産党議員の一般質問

小出わたる議員

消費税増税反対・やかん坂路側帯

石田よしお議員

病院北側に大規模自衛隊燃料施設

吉沢かつら議員

介護保険制度の改善・老後の安心

安道よし子議員

子育て応援のまちへ・騒音測定を

日本共産党市議会報告

2016年4月

発行/日本共産党入間市議団
連絡先/電話・Fax2932-2840

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075

安道よし子 2962-8082 090(4811)0553

吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077

小出わたる 2932-7884 090(6542)3883